



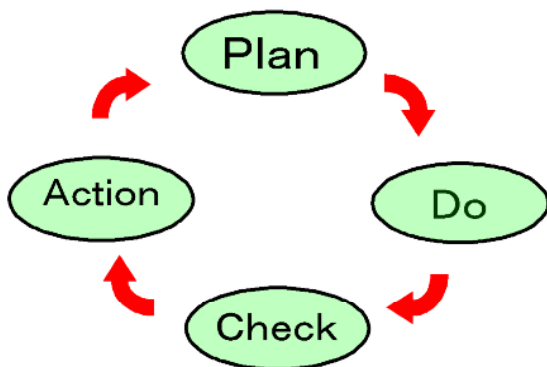
取組の内容編

エコアクション 21

はじめに

エコアクション 21 は環境省が中小企業等の幅広い事業者に対して、比較的低コストでしかも取り組み易い環境マネジメントシステムの手法を提供するという目的で作成し、普及を進めているものです。エコアクション 21 の取組内容は種々の要素を含み、始めて取組む事業者にとりましてはそのイメージを掴み難い面もあります。そこで、その取組の内容を簡潔に紹介いたします。エコアクション 21 への取組開始のきっかけにいただければ幸いです。

エコアクション 21 の骨格



エコアクション 21 の骨格は環境マネジメントシステムの国際規格である ISO14001 とまったく同じであり、計画 (Plan) 実行 (Do) 確認・評価 (Check) 代表者による見直し (Action) による PDCA サイクルを回すことにより、継続的改善を実施することです。

ですから、システム構築の初期においては、物事の細部にこだわるよりも、自分たちで PDCA を回せるようになることが最も重要です。細部は PDCA のサイクルを回す中で、必ず向上させてゆくことができるのです。

エコアクション 21 の目標設定

エコアクション 21 の活動では、次の項目については目標を必ず立てて活動します。

1. 二酸化炭素排出量（電力使用量、燃料使用量などから算出）の削減
2. 廃棄物排出量の削減
3. 総排水量（水使用量）の削減
4. 化学物質使用量の削減（化学物質を使用している場合）
5. グリーン購入
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目

* グリーン購入とは？

物の購入やサービスの調達にあたって、次のことを考慮します。

- ・ まず、購入や調達の必要性を十分に考慮する（無駄なものを買わない）
- ・ 品質や価格だけでなく、環境のことも考える。（省エネ性能、製品の寿命等）
- ・ 事業者の環境への取組の考慮（EA21 や ISO14001 の認証・登録等環境負荷の小さい事業者からの購入）

エコアクション21の活動 PDCAサイクル

